

生野区のホームページで公開されている「生野ものづくり百景」—大阪市生野区



大阪市内で最も多くの製造業事業所を抱える「ものづくりのまち」として知られる生野区は、区内の製造業で働く人々や技術をイラストなどで紹介したデジタルブック「生野ものづくり百景」第2弾を制作し、同区のホームページで公開している。社長の似顔絵や作業風景などが味わい深く描かれ、世界から注目される最先端技術の開発秘話なども詳しく紹介されている。

(上岡由美)

生野区 「ものづくり百景」第2弾 HPで公開

有限会社旭進ガス器製作所



社長の素顔などが味わい深いイラスト付きで紹介されている

生野区では、江戸時代から農家の副業としてもものづくりが盛んに行われていた。土地柄で知られている。過去には基石や眼鏡レンズが製造されていたが、現在でも切削やメッキなどの金属加工品、切り子ガラスなどの工芸品、ランドセルや眼鏡フレームなどの日用品などさまざまな分野の製造業事業所約2300社が集まっている。

しかし、世界から一目置かれる優れた技術を持ちながら、各企業の存在はあまり知られていないのが現状。若者のものづくり離れが進んでいることもあり、区は「ものづくりのまち」をアピールするため平成26年、区内の企業30社を紹介する「生野ものづくり百景」をつくり、今回は第2弾として新たに30社を加えた。

紹介されているのは、世界で1本だけの木製万年筆を作る「平井木工挽物所」▽眼鏡用金型の製造でフランスから視察に訪れるほどの技術力を持つ「山岡金型製作所」▽国内外のスポーツ界を席巻した水着素材を開発した「山本化学工業」など。いずれも世界から注目される技術を持つ企業が名を連ねている。

取材にあたっては、区の職員2人とライター、イラストレーター計4人がチームになって、各企業に何度も足を運んだ。沿革や事業内容だけでなく、社長の人となりや「我が社の自慢」なども詳しく聞き、従業員たちの暮らしぶりまで浮き彫りにしているという。

区役所地域まちづくり課の武田雅幸担当係長(44)は「各企業の『オンリーワン』の技術を通じて、あまり知られていない区の本当の姿を知ってほしい。こうした企業の魅力を発信することが、まちの活性化につながる」と話している。

■駅のエレベーター停止、高校生1時間閉じ込められる 2日午前8時35分ごろ、大阪市営地下鉄喜連瓜破駅(同市生野区喜連)の改札階と地上階を結ぶエレベーターが停止し、登校中の高校1年の男子生徒(15)が閉じ込められた。男子生徒は約1時間後に救出されたが、体調不良を訴え病院に搬送された。大阪市交通局で原因を調べている。交通局によると、エレベーターは昭和55年11月に設置されたもので、先月27日の定期点検時に異常は確認されなかったという。市営地下鉄で設置されているエレベーターで同型は他にないという。

作業風景 味わい深く描写

神社がある旧西横堀川西岸一帯は江戸時代、陶器問屋が軒を並べる「せともの町」として栄え、地蔵盆で端物や

午前11時〜午後8時。入場無料。問い合わせは同事務局(府陶磁器商業協会同組合、☎06・6532・4393)。



また8〜3日までに建物のライトアップも行われる。毎年、この時期に実施されている恒例行事。旧堺燈台は明治10年に、堺民の



ライトアップされた旧堺燈台—堺市堺区

仕切りがなく、明かり通りの窓や建物を補強する筋かいなどが見られる。午前10時〜午後4時。無料。ライトアップは日没から午後10時まで。光に照らされたトロコな外観が楽しめる。南海堺駅から徒歩約15分。問い合わせは堺市文化財課(☎072・2228・7198)。

府医療機関情報システムのダイヤルインフォメーション
▷府救急医療情報センター ☎06・6693・1199 (24時間対応)
▷救急安心センターおおさか ☎#7119 または 06・6582